

令和元年度 学校評価 結果分析

※今年度より調査項目を変更したため、一部昨年度と比較できない項目がある。

() 内の数値は%

観点	保護者等 (含：学校運営協議会)	生徒
1. 「A + B」 = 80%以上 (肯定的評価)	35 / 39項目	33 / 38項目
2. 「A + B」 で特に評価の 高い項目 (90%以上)	「14.教員の対応」(93) 「15.教員の熱意」(91) 「19.選択授業や少人数授業」(91) 「21.マナーや規範意識の指導」(91) ← 「22.服装や頭髪指導」(90) ← → 「25.進路情報の提供」(91) 「37.あ・じ・みの指導」(92) ← → 「38.外国人生徒への指導」(91)	「2.入学してよかった」(90) 「18.モラルやマナーの指導」(90) 「19.服装や頭髪指導」(90) 「36.あ・じ・みの指導」(90)
3. 「A + B」 で昨年度と比 較して評価を 下げた項目	「11.すぐメールの活用」(89-91)	「4.連絡文書」(85-91) 「23.安全衛生面」(87-88) 「32.ボランティア」(86-89) 「35.地域連携」(86-90) 「37.外国人生徒への指導」(86-88)
4. 「C + D」 = 15%以上 (否定的評価)	「6.連絡文書」(15) 「7.授業や行事の参観」(16) 「31.部活動」(15)	「5.家庭での学校の話」(17) <u>「30.清掃や校内美化」(24)</u>
5. 「E」 = 15%以上 (周知不足)	「18.働き方改革」(15)	「18.働き方改革」(19)
6. 本校への満 足度	「3.お子様はよろこんで学校に通っ ている」(84)	「3.本校に入学できてよかったと 思っている」(90)

【総括】(成果と課題)

- ①昨年度と比較して、保護者等および生徒の本校への評価は大きく向上している。
- ②特に「観点2」で、保護者等および生徒が共通する3項目をあげている点で、本校の生徒指導が両者に強く浸透していることがわかる。
- ③「観点4」において、保護者等があげた3項目は、昨年度も評価が低い項目であった。
 - ・「連絡文書」は、生徒の評価も昨年から下がっていることから引き続き教員からの呼びかけを徹底する。
 - ・「授業や行事の参観」については、行事は比較的公開されているため、授業の参観機会の増加を検討する。
 - ・「部活動」では、生徒も「C + D」が10%あり課題と感じているため、生徒が望む部活動のあり方を研究する。
- ④「観点4」において、生徒があげた「清掃・校内美化」は、群を抜いて評価が低い。日常の清掃活動を重視し、教員(掃除監督)の定時定位置を徹底する。
- ⑤「観点6」において、肯定的な数値に満足することなく、保護者等の16%、生徒の10%の不満を的確に把握し、きめ細かい対応を行う必要がある。